

平成30年9月18日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長

(防災研究所長)

中川 一

教員の公募について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とする全国共同利用の研究所であり、5研究部門・6附属研究センターによって構成されています。平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、大学改革の一環として平成28年度より学域・学系制度を導入しました。この制度では、教員は教員組織としての学系に所属し、従来の部局は教育研究組織と位置づけられていますので、併せてお知らせいたします。

敬具

記

1. **職 種**： 准教授
2. **募集人員**： 1名
3. **所 属**： 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所**： 京都大学防災研究所
地震・火山研究グループ 火山活動研究センター 火山テクトニクス研究領域
(所在地：鹿児島市桜島横山町)

5. **職務内容**：

巨大噴火を含む長期的な火山噴火発生予測に資するために、最近数万年以内に巨大噴火が発生した始良や鬼界などのカルデラと近傍の活火山下および周辺の地殻及びマントル内の地震等の活動、地殻変動や地下構造を把握することにより、深部流体（マグマ）の動態を解明する研究を推進する。また、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育を担当する予定である。

6. **資格等**： 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
7. **採用予定日**： 選考後、可能な限り早い時期
8. **任期**： なし
9. **試用期間**： あり（6ヶ月）
10. **勤務形態**： 専門業務型裁量労働制（週 38 時間 45 分相当、1 日 7 時間 45 分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季休業日
11. **給与・手当等**： 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険**： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
13. **応募方法**： 次の (1)～(6) 各一式
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5 編
 - (4) 研究業績の概要（A4 用紙 2 ページ以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4 用紙 2 ページ以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方 2 名の氏名と連絡先）
14. **書類提出先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
火山活動研究センター 火山テクニクス研究領域 准教授候補者選考調査委員会 宛
（封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書き、郵送の場合には書留にすること）
15. **応募締切**： 平成 30 年 11 月 16 日（金）【必着】
16. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
火山活動研究センター 火山テクニクス研究領域 准教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff'at' dpri.kyoto-u.ac.jp （'at'を@に置き換えてください）
（封書あるいは電子メールに限ります）
18. **その他**：
応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。
なお、京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。
10. および 11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

火山活動研究センターの概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

我が国で最も活動的な火山である桜島をはじめとする南九州の活火山群を全国的なレベルでの野外観測研究拠点として、地球物理学、地質学、岩石学、地球化学の手法を用いて学際的な実験・観測を総合的に推進しています。これにより火山噴火に至るまでの様々な過程を把握し、数々の火山現象のメカニズムを解明して、火山の噴火予知と火山災害軽減を目指した実践的な研究を進めています。

また、共同利用・共同研究拠点である防災研究所の、火山に関するフィールド研究の場としての桜島火山観測所及び附属施設の運営、インドネシア地質学院をはじめとする国際共同研究の実施と推進、地震・火山噴火予知研究協議会における研究活動を行い、国内外、特に桜島以南4火山の火山防災協議会等を通じた活動により地域社会へ貢献します。

火山噴火予知研究領域

桜島など南九州の活火山やインドネシアなどの活動的な火山を対象として、火山観測に基づく火山噴火予知の研究を行っています。また、噴火現象をはじめとするさまざまな火山活動現象を観測することにより噴火機構を解明し、さらに噴出物の運動を予測することにより、火山災害軽減を目指した研究を行います。

火山テクトニクス研究領域

火山帯下および周辺の地殻及びマントル内の地震等の活動、地殻変動や構造を様々な手法を用いて研究することにより、深部流体（マグマ）の動態を把握し、長期的な火山噴火発生予測、特に最近数万年以内に巨大噴火が発生した始良や鬼界などの巨大カルデラ噴火発生に関する科学的知見を集積するとともに、地震と火山噴火の連動メカニズムを解明します。

2. 現在の教員構成（2018年9月18日現在）

	【教授】	【准教授】	【助教】
火山噴火予知研究領域	井口正人	中道治久	味喜大介・山本圭吾 為栗 健
火山テクトニクス研究領域		(本公募)	(選考中)

共同利用・共同研究拠点について

個々の大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用したり共同研究を行う「共同利用・共同研究」のシステム、全国共同利用研究所として、防災研究所は共同利用や共同研究を推進してきましたが、平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

なお、京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

**Associate Professor Position in the Sakurajima Volcano Research Center
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

September 18th, 2018

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Associate Professor position.

Location: Sakurajima Volcano Research Center, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Sakurajima-Yokoyama, Kagoshima, Kagoshima 891-1419, Japan.

Job description and required qualification: The appointed associate professor is expected to conduct research on behavior of deep fluid (magma) and long-term prediction of occurrence of volcanic eruptions including caldera forming eruptions, by investigating earthquakes of the crust and mantle in and around the active volcanoes of calderas. Also, relevant is research related to crustal deformation and subsurface structure beneath Aira and Kikai calderas, where colossal eruptions occurred during the last thousands of years. The research will be done at Sakurajima Volcanological Observatory in Kagoshima city. He/she will also have educational responsibilities in the Department of Earth and Planetary Sciences, Graduate School of Science, Kyoto University. He/she should have a Ph.D. or its equivalent and to be proficient in Japanese.

Starting date: As soon as possible after the selection.

Probation period: 6 months

Working conditions: Working hours: 38 hours 45 minutes per week under full-time employment in a discretionary working system. Days off: Saturdays, Sundays, public holidays, Year-end and New Year holidays, University Foundation Day, and summer vacation.

Salary and benefits: To be determined in accordance with the existing employment regulations of Kyoto University.

Insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) employee's pension insurance, (3) unemployment insurance, and (4) worker's accident insurance

Applicants should prepare the following material:

(1) Curriculum vitae

- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters or names and contact information of two references (include addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of November 16th, 2018 (JST) at the following address:

Selection Committee for Associate Professor, Sakurajima Volcano Research Center
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

For inquiries, send e-mail to apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>.

Kyoto University is an equal opportunity employer.